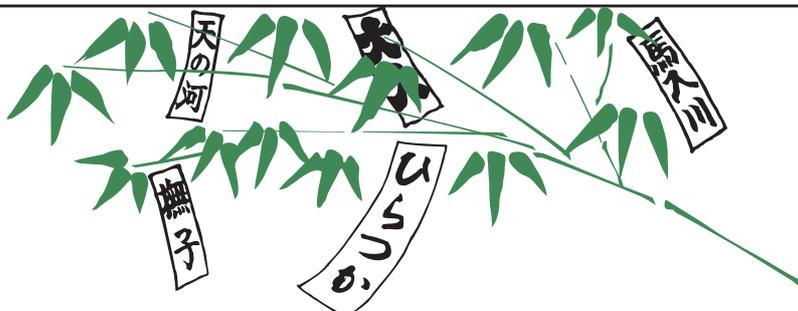




2010～2011年度 国際ロータリーテーマ
BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS
地域を育み、大陸をつなぐ



HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 桐本美智子 ●副会長 小飯塚立雄 ●幹事 柏手 茂 ●会報委員長 工藤光和 (2010～2011年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ●会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ●事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2777回 2011年2月26日 平塚プレジール 週報第2777号

第8グループ IM(Intercity Meeting) 開催

テーマ:「きれいな地球環境は、一人一人の心がけから」
ホストクラブ:平塚南ロータリークラブ

基調講演

講師: NPO法人環境文明
21 共同代表
加藤 三郎氏
演題:「日本を元気にする
環境対策」



基調講演 講師 加藤三郎様

講師 加藤三郎氏経歴(略歴)

1939年 東京生まれ
1964年 東京大学工学部土木工学科卒業
1966年 東京大学工学系大学院卒業
1966年 厚生省入省。環境庁設立に伴い、主に同庁にて公害、環境行政を担当
1990年 環境庁企画調整局地球環境部初代部長に就任
1993年 退官し、環境文明研究所を設立し、所長になる
21世紀の環境と文明を考える会代表理事に就任

現在の役職

NPO 法人環境文明 21 共同代表、(株)環境文明研究所代表取締役所長、早稲田大学環境総合センター顧問教授等

主な著書

「環境の思想—「足るを知る」生き方のススメー」プレジデント社、「福を呼びこむ環境力」「環境力」ごま書房、「環境の世紀」毎日新聞社、「環境と文明の明日」プレジデント社、「地球市民の心と知恵」中央法規出版

環境文明 21 はどんな NPO ?

私たちは、今日の混迷する社会にあって、特定の利害にとらわれず、長期的な視点を持って、次世代も含めた全ての人々が、健康で心豊かにいきいきと暮らせる持続可能な社会をつくることをめざして、1993年から活動している NPO です。

解決しなければならない課題を明確にし、先人の知恵

なども参考にしながら、有限な地球環境の中で、私たちはどのような価値観を持ち、どのような経済社会を築いていけばいいのか、その羅針盤となり、一歩ずつでも社会を変えることが私たちの目標です。

どんな人が支えているの?

共同代表 加藤 三郎 (株)環境文明研究所所長
共同代表 藤村コノエ (有)エコ企画代表取締役
理 事 井村 秀文 名古屋大学名誉教授
許斐喜久子 環境文明 21 関西グループ代表
筑紫みずえ (株)グッドバンカー代表取締役
原 剛 早稲田大学環境塾長
松尾 友矩 東洋大学理事
柳下 正治 上智大学大学院教授
監 事 大内田 誠 (有)トランクライザープロダクト取締役

(2010年8月現在)

NPO 法人 環境文明 21

Japan Association of Environment and Society for the
21st Century
〒145-0071 東京都大田区田園調布 2-24-23-301
TEL: 03-5483-8455 FAX: 03-5483-8755
E-mail: info@kanbun.org
URL http://www.kanbun.org/
取引銀行 三菱東京UFJ銀行武蔵小杉支店(普) 3973465
郵便振替口座 00220-1-51770
(名義はいずれも「環境文明 21」)

環境文明 21 の活動には、大きく四つの柱があります

1 調査研究

私たちがめざす持続可能な社会はどんな社会なのか、その中でどんな価値観、経済活動、制度を作っていけばいいのかなど、持続可能な社会を築くための本質的な課題について、調査研究を行っています。

① 環境倫理/日本の持続性の知恵の探求

21世紀における精神性の基盤を探求し続けています。

② グリーン経済の探求/経営者の環境力大賞

環境と調和した経済の姿を明確にし、それを実現させるための方策を考え、実践しています。

<出席報告>

本日	2月26日	会員数	60名	対象者	55名	出席者	60(55)名	出席率	100.00%			
前々回	2月10日	会員数	60名	対象者	55名	出席者	42(38)名	出席率	69.09%	MUP 2名	計 40名	修正率 72.73%

③環境文明社会のロードマップづくり

日本の持続性の知恵やグリーン経済などの研究成果を活かし、新たな環境文明社会の探究に着手しました。

2 政策提言

調査研究の成果の中から、必要に応じて政策提言を行います。各種公聴会などで意見を表明したり、具体的な法案・条例案を作成し提案しています。

これまでに、次のような政策提言を行いました。

①環境教育推進法の成立

当会が発案し、イニシアティブをとって活動した結果、議員立法で成立しました。

②憲法に環境条項を

国会議員とも連携をとりながら、現在働きかけています。

③ごみの発生抑制に向けた提案

ごみ問題解決の鍵“元を断つ”ため、提言書を取りまとめ、行政などに働きかけています。

④温暖化防止活動

京都議定書の発効やその推進のため、パレードやデモなどを行い、国会議員に働きかけました。また欧米での最新の取り組みを紹介しながら、日本での具体的な提案もしています。

⑤自動販売機のモデル条例

モデル条例として冊子に取りまとめ、主に地方議会や行政に働きかけています。

3 普及・教育

社会の有り様や考え方の基盤だけでなく、環境の現状や科学的な最新情報、最先端の取り組み情報なども含めた“環境文明ならではの本質的な情報”を、多くの人に知ってもらい、広めていくために、次のような活動を行っています。

①会報の発行

持続可能な社会を作る上で基盤となる考え方や今後の方向、さらには最新の動向を紹介しています。毎月発行。

②ブックレットの出版

調査研究や部会活動の成果を「環文ブックレット」として出版しています。現在まで、「日本を元気にする温暖化対策」「食と環境倫理」「欧米のNGOに学ぶ」「持続可能な交通をめざして」「飲料自販機」など出版しています。

③企業会員向けも含め、各種セミナーの開催

企業研修・セミナーの企画並びに運営を行っています。

④講師の派遣

市民、企業向けなどの講演会、セミナー・研修などの講師を派遣します。またパネルディスカッションのコーディネーターも派遣します。

4 交流

会国にいる会員と交流し、“羅針盤”の精度を高めています。

①**全国交流大会**を、年に1回、開催しています。

②**部会活動**は、調査研究や政策提言の土台を作る場です。毎年2～3の部会を設け、それぞれ毎月1回程度、開催しています。

③**エコツアー**は、長野県伊那市長谷でお借りしている田んぼでの田植え、稲刈りを中心に、周辺地域の伝統文化を学ぶものです。地元の方々との交流はずっと続いています。

④**ハワイセミナー**は、米国・ハワイの仲間と意見交換をする場です。異文化を持つ人たちと持続可能な社会について議論することは、考え方の幅を広げる絶好の機会です。

⑤**企業セミナー**は、持続可能な企業経営について考える場です。目先の利益だけでなく、企業の進むべき方向について議論する場を年に2回程度、開催しています。

※この他にも多岐にわたる活動を行っています。

詳細はホームページをご覧ください。

ホームページ <http://www.kanbun.org/>

【IMへ報告】(期間:2010年2月22日～2011年2月26日)

●当クラブ新会員

笹井純一・嶋津良治・梅崎邦夫・國岡久資・吉柳恵子
会員各位 (計5名)

●物故会員

出縄忠良名誉会員 (2010.11.10 享年74歳)

今井政信会員 (2010.11.19 享年52歳)

【プログラム】

12:40～13:10 登録開始

13:20～14:50 市民公開講座 基調講演

15:20～ 合同例会 点鐘

15:30～17:50 IM (Intercity Meeting)



新会員のご紹介
(平塚 RC から梅崎会員)



平塚学園高等学校 IAC の発表

18:00～19:20 懇親会



懇親会



市内フラメンコ教室の皆さん

<メイクアップ>

2名

門井・清水(裕) 各会員

<卓話・行事予定>

3月17日(木) 報徳二宮神社

報徳会館支配人 草山明久様

24日(木) 職業奉仕副委員長 小笠原会員

31日(木) 休会(定款による)

4月7日(木) ‘ぐるなび’ 営業担当 酒井隆弘様

14日(木) 企業訪問

<市内例会変更>

平塚西 3/16(水) 休会(定款による)

平塚南 3/11(金) 18:00 夜間例会 3/18(金) 移動夜間例会